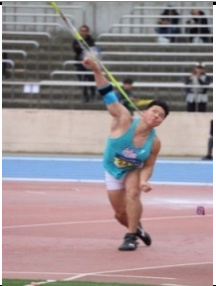


就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	いわお ゆうさく	性別	生年月日・年齢	
氏名	巖 優作	男	2002年4月12日	
競技名／種別(種目)	陸上競技(やり投)		22 歳	
出身地	兵庫県神戸市			
現住所	茨城県つくば市			
所属先	筑波大学			
練習場所	加古川陸上競技場			

【選手プロフィール】

■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2021	3	尼崎市立尼崎高等学校 卒業
2021	4	筑波大学 体育専門学群 入学
2025	3	筑波大学 体育専門学群 卒業見込み



■免許・資格

普通自動車第一種運転免許
パソコンを実務で操作可能

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2023	8	FISUワールドユニバーシティゲームズ(中国・成都)	5位
2023	10	アジア投擲選手権大会(韓国・木浦)	優勝

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2023	4	第1回中京大学土曜競技会	日本学生歴代3位・80m09
2023	4	2023日本学生陸上競技個人選手権大会	優勝
2023	6	第107回日本陸上競技選手権大会	5位
2024	9	第93回日本学生陸上競技対校選手権大会	2位

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

◎挫折と達成を繰り返した4年間

私の強みは「どんな苦境も乗り越えること」と「多様な人脈を活かせること」です。私は3年前、大学入学式前日に筑波大学記録を更新し、U20世界ランキングは1位でした。しかしながら、入学直後、右肘に選手生命に関わる大きな怪我を負いました。とてつもない悔しさを知り、復活に燃えて日々精進し、臨んだ2年目の初戦で肘の怪我が再発しました。入学当初に思い描いた世界の舞台で戦う自分とはかけ離れている現状に途方に暮れる日々が続きました。しかし、試合に出られない時期に、体力的な要素だけでなく、生活面や精神面など多面的に自分に必要なものを考えた結果、怪我が原因で動作に大きな影響が出ていると気づくことができました。そして、原因を改善するヒントを見つけるため、やり投げを通して出会った多様な人脈に交渉を行い、フィンランドの世界的に活躍するコーチの元で指導を仰ぎ、各国のオリンピックと共に鍛錬を続けました。その結果、肘の怪我を克服し、3年生の初戦に自己ベストを4m近く更新して学生歴代3位となる「80m09」を記録し、翌週には学生個人選手権で優勝し、日本代表に選出。アジア投擲選手権でも優勝することができました。このように、私はどんな苦境に置かれても目標に向き合うことを忘れず、練習方法・環境への試行錯誤を続けることで、国内のみならず、世界各国の選手との繋がりを得て、競技者として人間として成長し続けてきました。今後もこの強みを活かして、オリンピックで優勝するという夢に挑戦すると同時に、私の活気が身近な存在から社会の人たちへ伝播し、挑戦する勇気を与えられる社会人になります。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	人の喜びに関与できる業種、スポーツの発展に貢献できる仕事に興味があります。上記以外のどんな業種でも全力で取り組みます。
②勤務地	近畿・関東
③勤務日数・時間帯	週2～4日の午前勤務を希望します。試合前や合宿期間に応じてご配慮いただければ幸いです。